

社宮歯発第 359 号  
平成22年 2月 1日  
(地区事業/病診連携委員会)

会 員 各 位

社団法人宮城県歯科医師会  
会 長 細 谷 仁 憲

### 糖尿病講習会のご案内

—日本糖尿病協会 歯科医師登録医のための認定講習会—  
(第9回医院経営支援プロジェクト講演会)

立春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

宮城県歯科医師会の重点事業の一つであります「医院経営支援プロジェクト」主催の日本糖尿病協会 歯科医師登録医のための認定糖尿病講習会を病診連携委員会で企画・開催いたします。

下記のとおり東北労災病院糖尿病代謝センター長 赤井裕輝先生より糖尿病の基本から臨床について講演いただきます。

大変有意義で日常臨床に大いに役立つ内容のお話しが聞けると思いますので、日本糖尿病協会 歯科登録医以外の先生方及びスタッフも、ご多用とは存じますが万障繰り合わせの上、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

<事前に申し込み頂いた受講者には、講習会終了後 受講証をお渡し致します>

受講希望の方は別紙申込書にご記入の上、**平成22年3月5日(金)までに**宮歯事務局へFAX (022-225-4843) または郵便にてお送り下さいますようお願い申し上げます。

記

- 1 日 時：平成22年 3月13日(土) 18時30分～(約2時間予定)
- 2 会 場：宮城県歯科医師会館 地下ホール
- 3 講 師：東北労災病院副病院長・糖尿病代謝センター長  
赤 井 裕 輝 先生
- 4 演 題：「基本から学ぶ糖尿病」

問合せ先：宮城県歯科医師会(佐藤)  
TEL (022)222-5960 FAX (022) 215-3442  
e-mail:satou@miyashi.or.jp

**生涯研修ICカードをご持参下さい**

# 糖尿病講習会参加申込書

支部会名： 会員氏名  
.....

診療所名： 電話番号  
.....

参加者名： 参加者名：  
.....

参加者名： 参加者名：  
.....

参加者名： 参加者名：  
.....

＜宮歯事務局 FAX 022-225-4843 担当：佐藤＞

申し込み締切：平成 22 年3月5日(金)

# 「基礎から学ぶ糖尿病」

－血糖コントロールをよくするには－

東北労災病院 糖尿病代謝センター  
赤井裕輝（あかい ひろあき）

良好な血糖コントロールは合併症予防のためのみならず、できあがった合併症の治療法としても重要である。われわれは HbA1c6%未満、良好な血圧コントロールに穏和な低蛋白食遵守が継続されれば、蛋白尿多量の糖尿病性腎症でも尿蛋白の消失（正常～微量アルブミン尿）まで改善でき、その後の進展を抑制できることを示してきた。これは血圧のみの管理では実現できない。

食事療法の指導で見落とされるのは、過度の肥満者を除いた非肥満コントロール不良例でのショ糖、ブドウ糖、果糖など単純糖質の過剰摂取であり、カロリーオーバーは顕著ではない。糖尿病患者は腹八分の継続が困難なので、複合糖質であるご飯を指導の半分量に制限しても結果的におかずの油の過剰摂取となる。体重の改善を待っている間コントロール不良が続くと、糖毒性によるインスリン分泌能低下を招く。インスリン分泌能の保存されているうちに強化インスリン療法でコントロールの改善を図り、膵島機能、インスリン抵抗性を見極めて内服薬を選択することが基本である。

講演では、糖尿病の定義、病型から、膵島（ランゲルハンス島）のインスリン分泌能低下のメカニズム、糖尿病合併症の進展経過、合併症対策の現状についてお話しさせて頂く。

## 【略歴】赤井裕輝（あかい ひろあき）

- 1979年 弘前大学医学部卒業
- 1985年 東北大学大学院医学研究科修了 医学博士
- 1987年 米国国立衛生研究所（NIH）留学
- 1990年 東北大学病院第三内科 助手
- 1994年 仙台厚生病院 糖尿病代謝科部長
- 2003年 東北大学医学部糖尿病代謝科 臨床教授（併任）
- 2004年 仙台厚生病院 副院長 兼 糖尿病代謝センター長
- 2007年 東北労災病院 副院長 兼 糖尿病代謝センター長

日本内科学会 認定内科医  
日本糖尿病学会 指導医，専門医，評議員  
日本病態栄養学会 評議員  
日本病態栄養学会認定 NST コーディネーター  
日本内分泌学会 内分泌代謝科特例専門医  
日本糖尿病協会誌「さかえ」編集委員  
医学書院専門誌「糖尿病診療マスター」編集委員